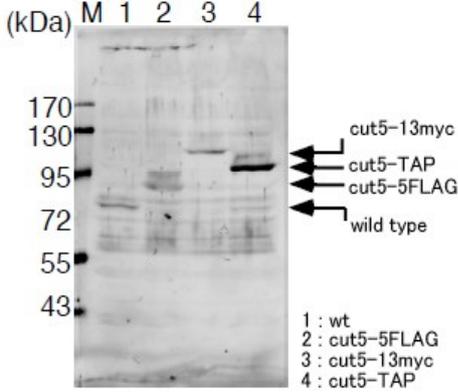


抗 Cut5 / Rad4 (*S. pombe*) 抗体, ウサギ抗血清

商品コード	63-107
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.05 %アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	リコンビナント GST 融合 Cut5 タンパク質 (N-末端側半分)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	<i>S. pombe</i> Cut5/Rad4 タンパク質。他の種は試されてない。
アプリケーション	ウエスタンブロッティング (500 倍希釈) 他の用途は試されてない。
背景	Cut5 / Rad4 タンパク質は DNA 複製にとって重要なコンポーネントであり、また S 期から M 期への進行と連動して、DNA 損傷のチェック・ポイント制御に重要なタンパク質である(文献 1、2)。このタンパク質はクロマチン・タンパク質と相互作用して DNA 合成の開始、進行に必要な複合体を形成する。このタンパク質は 4 BRCT ドメインを含み分子量は 74.1 kDa で 648 個のアミノ酸から成る。
Data Link	UniProtKB P32372
画像	 <p>図 この抗体を用いて <i>S. pombe</i> 粗抽出液において Cut5 / Rad4 タンパク質を検出した。細胞をアルカリ溶解し、TCA 沈殿した。</p> <p>Lane M: サイズマーカー(kDa)</p> <p>Lane 1: 野生型細胞</p> <p>Lane 2: 野生型 cut5 遺伝子を cut5-5Flag 遺伝子に置き換えたもの</p> <p>Lane 3: 野生型遺伝子を cut5-13myc 遺伝子に置き換えたもの</p> <p>Lane 4: 野生型遺伝子を cut-TAP 遺伝子に置き換えたもの</p> <p>* Cut5 タンパク質は C-末端部分がプロテアーゼ分解を受けることが知られている。native 型および分解産物が観察される (文献 2)。</p>
文献	<p>この抗体は以下の文献で用いられた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Saka Y <i>et al</i> "Damage and replication checkpoint control in fission yeast is ensured by interactions of Crb2, a protein with BRCT motif, with Cut5 and Chk1." <i>Genes Dev</i> 11:3387-3400 (1997) PMID: 9407031 2. Saka Y <i>et al</i> "Fission yeast cut5 links nuclear chromatin and M phase regulator in the replication checkpoint control." <i>EMBO J</i> 13:5319-5329 (1994) PMID: 7957098
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	